


みんなが集うからおもしろい！
～サポートセンターよねざわの実践から～



置賜障害者就業・生活支援センター
小関 由美子

はじめに

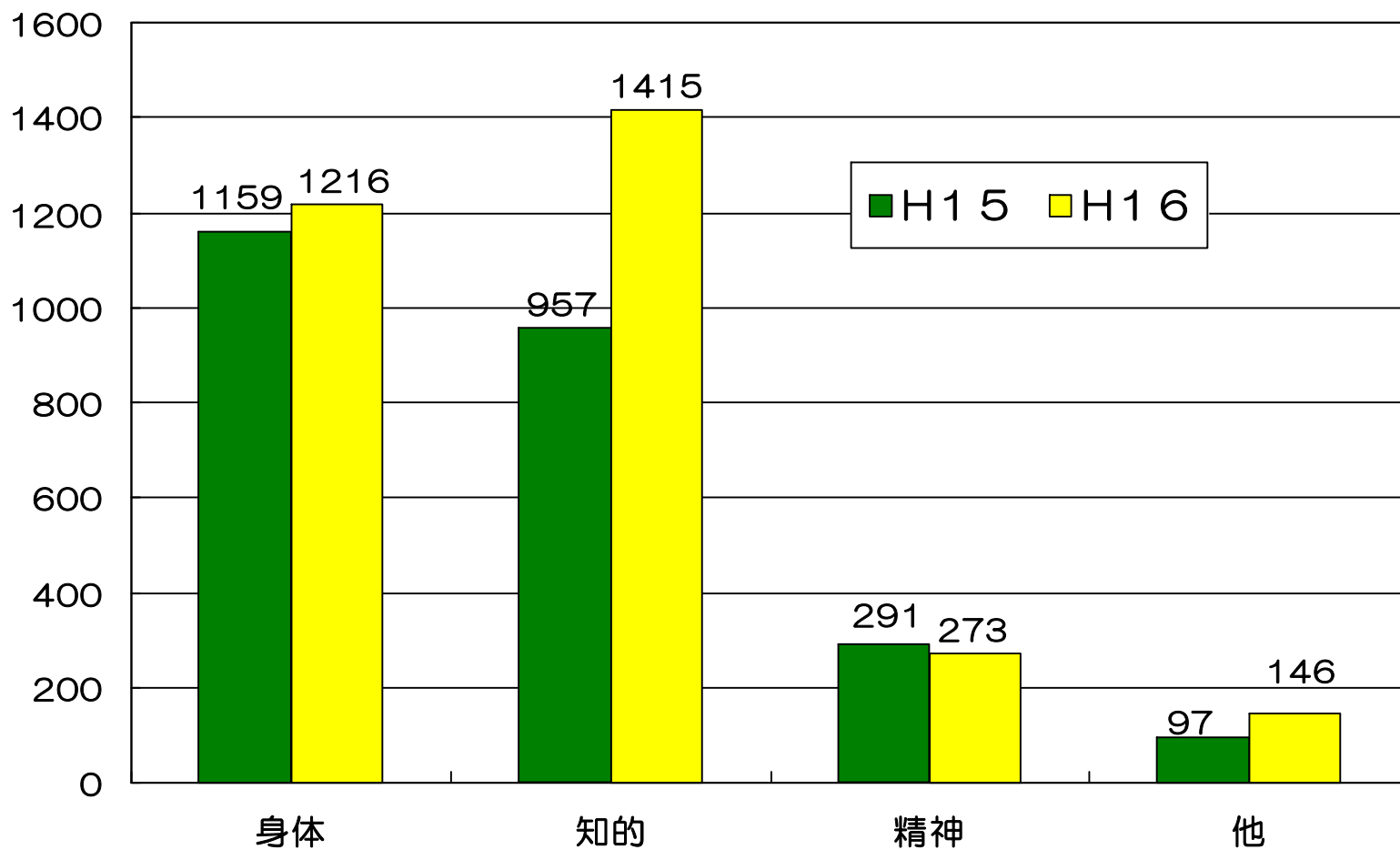
- 産声は「梓園地域生活支援センター」
- 平成15年度から「分室」として
- 相談は、在宅の3障害の方から
- 時代のニーズが追い風に



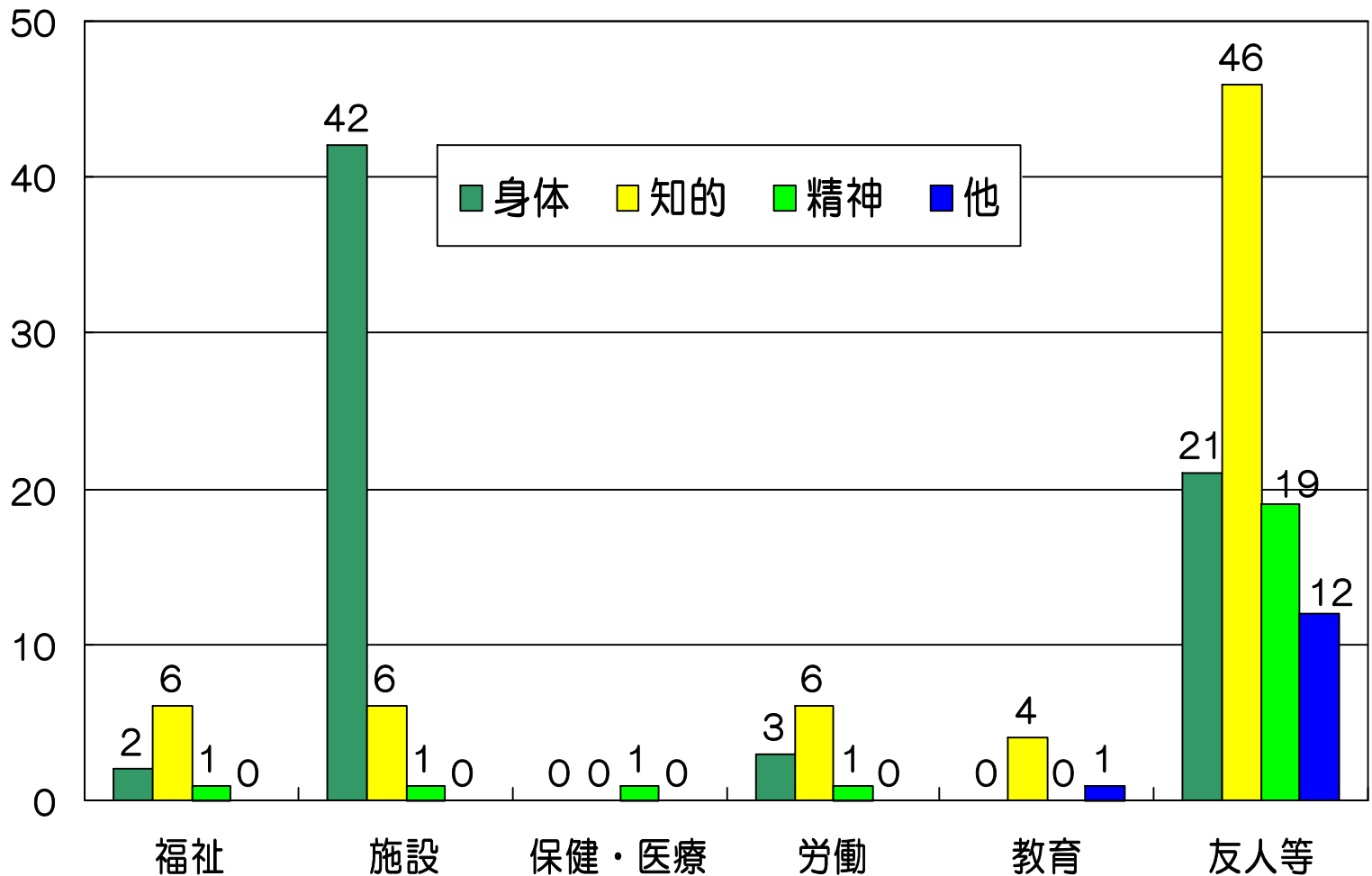
2年間の比較から

- ① 障害種別による来所者の比較から
- ② 紹介経路の違いは？
- ③ 住所は？置賜地域だけ？
- ④ 男性、女性における比は？
- ⑤ 所属に違いはあるの？

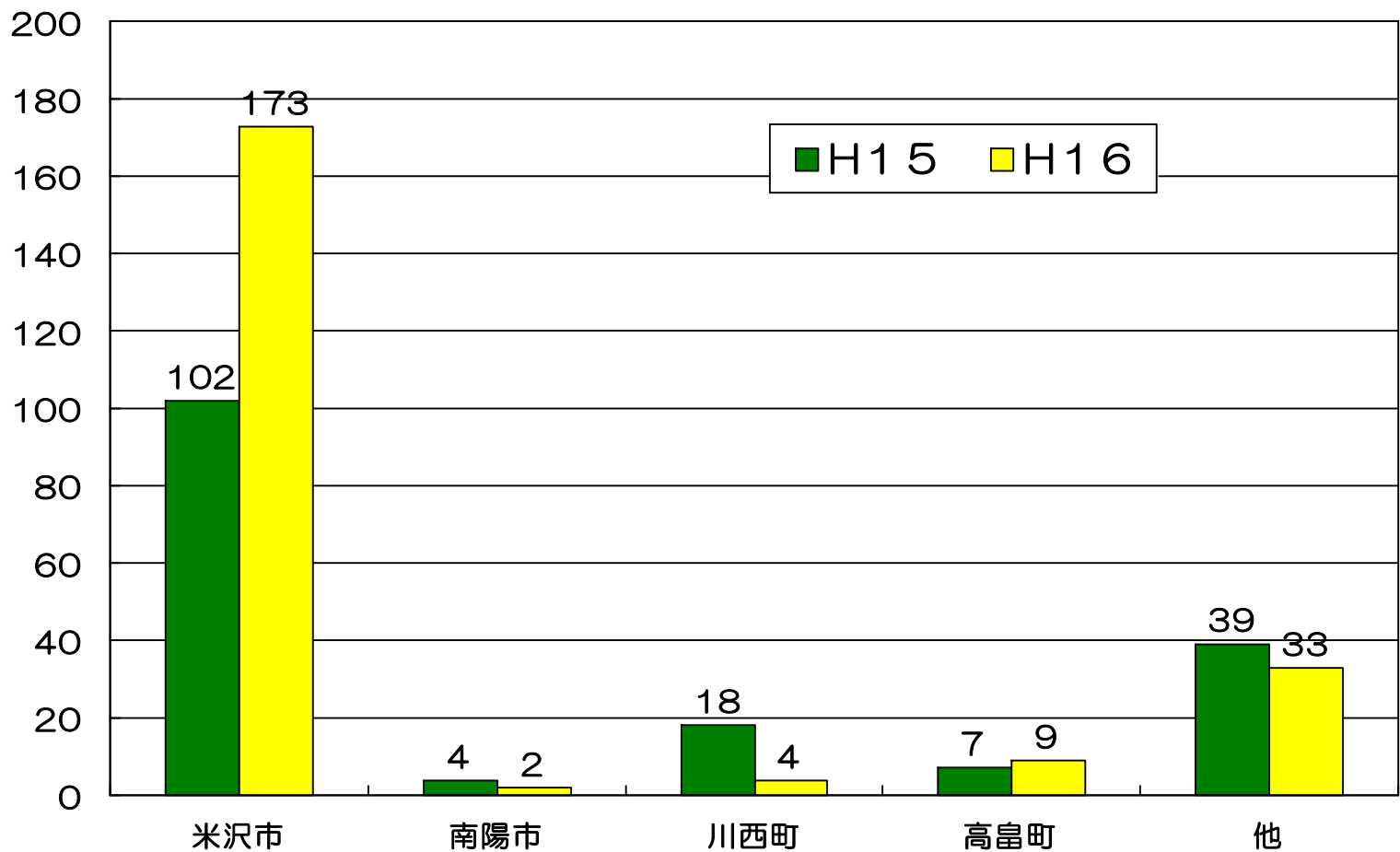
①障害種別による比較



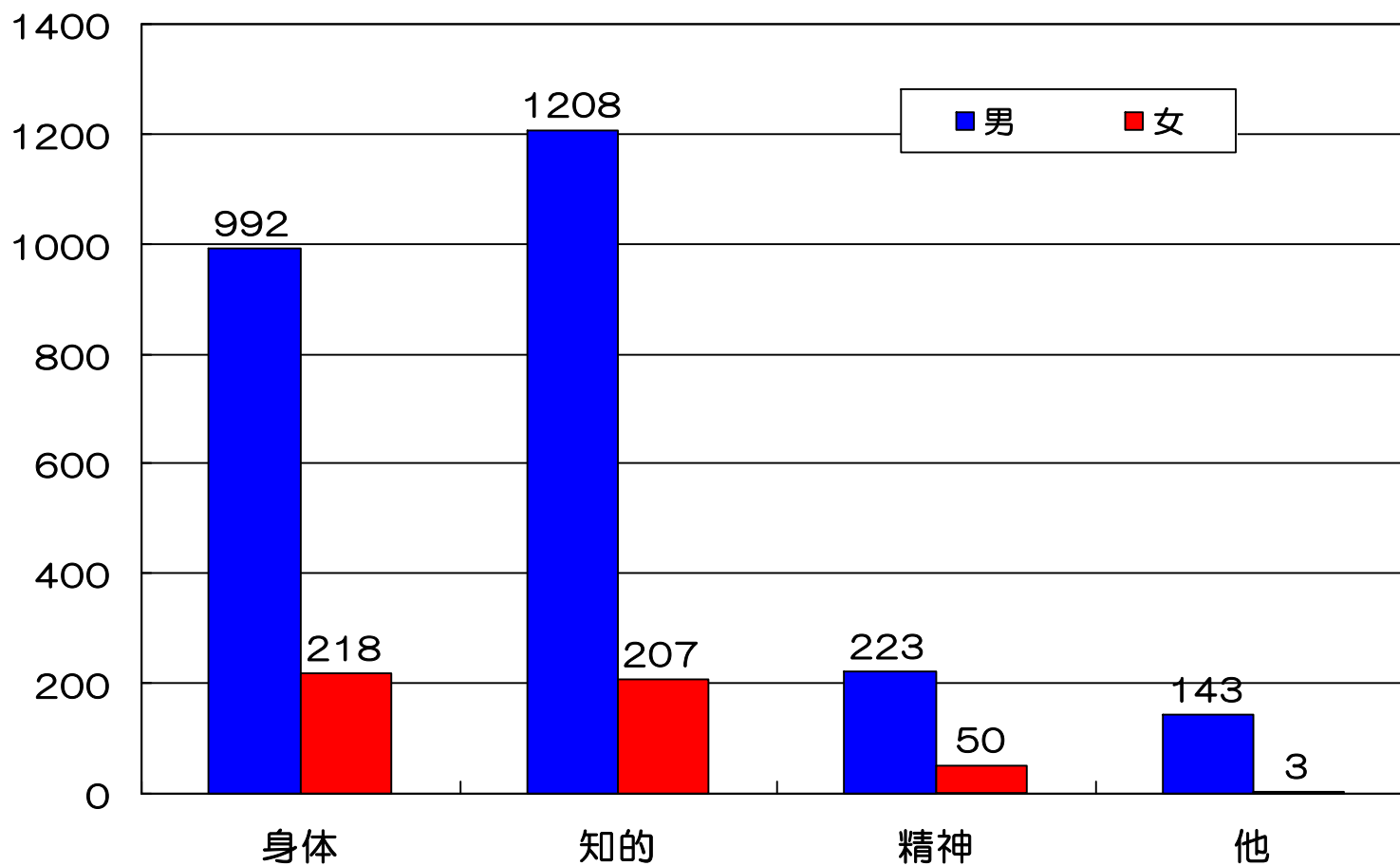
②紹介経路の違いは？



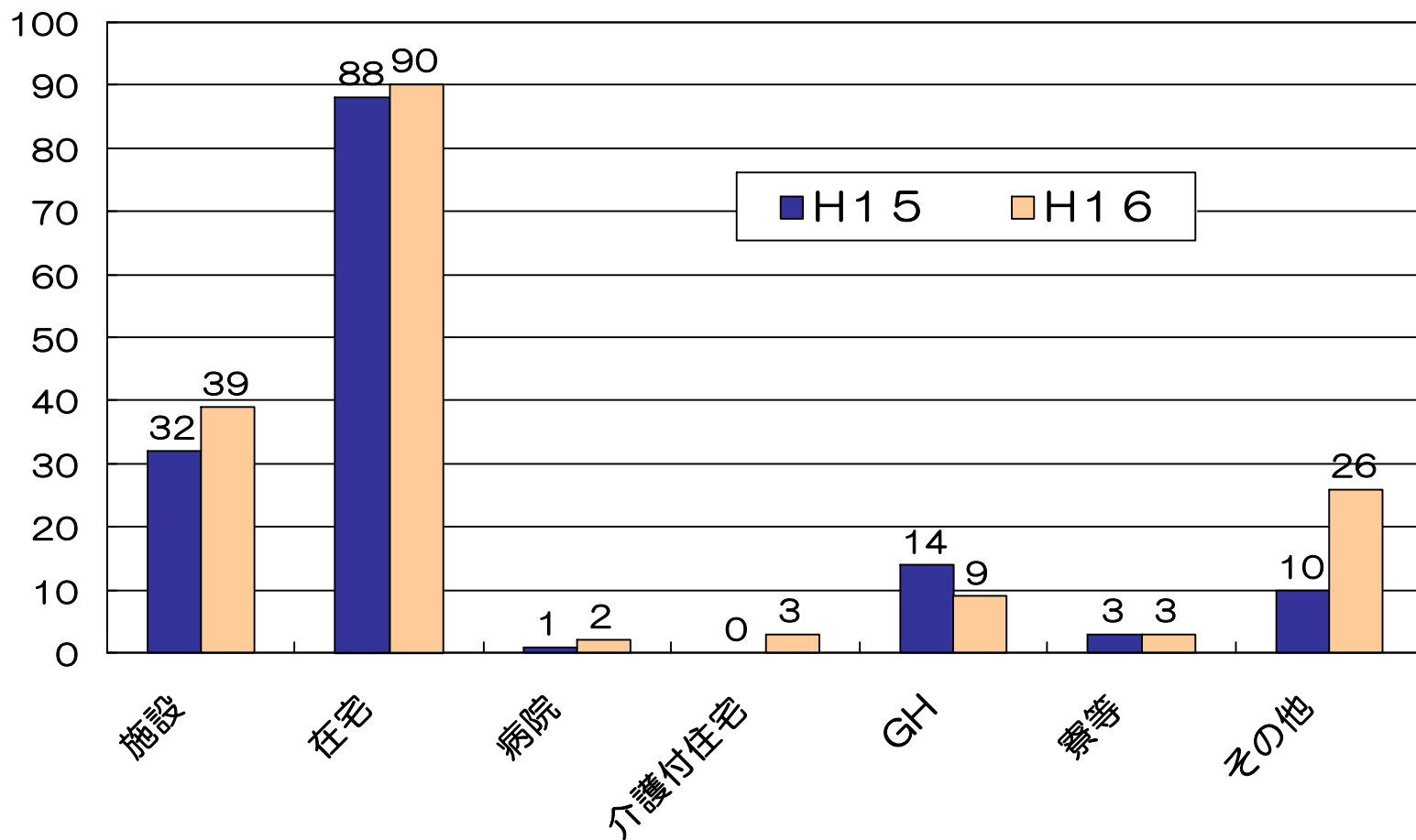
③住所はどこ？

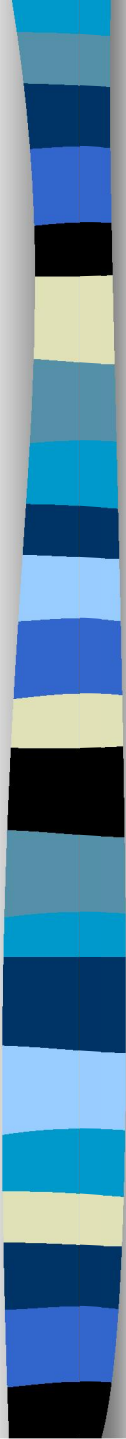


④男性、女性、どっちが多い？



⑤所属に違いはあるの？





みんなで考えよう！自分の健康



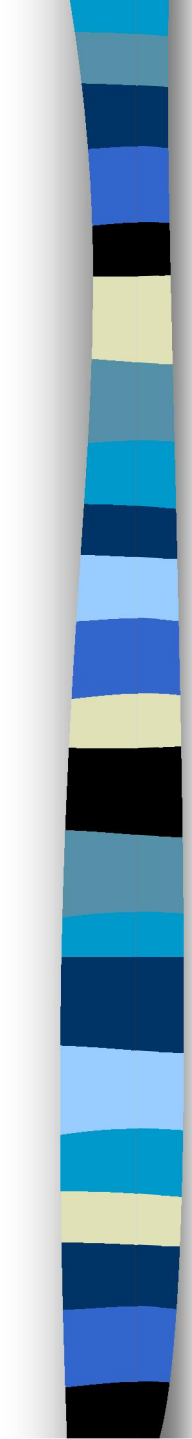
今日は、私が《講師》





ある事例から

- Aさん（男）、18才、手帳なし
- 私立高校在学中から不登校へ
- 高校担任、母親からの相談
- 「ぼくは障害者ではありません。」



本人の支援は 家族との連携から

- 作業所に行く前に
- 「大人」になりたくて
- 赤面で来所？！
- 「どうすればいいのか...」
- 専門家からの助言を



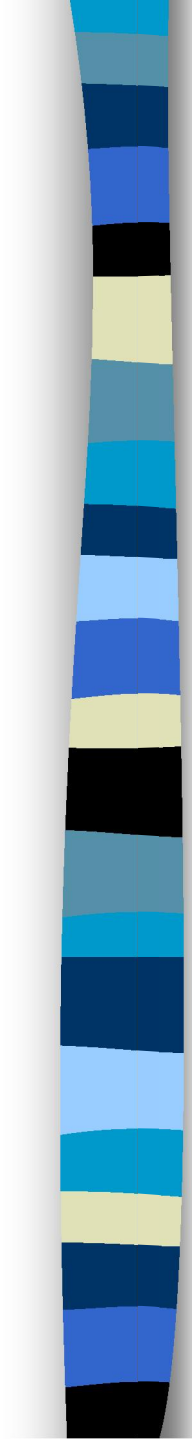
現状から見えるもの

- 卒業してから、離職してからの相談
- 障害種別にかかわらず、休日の活用へ
- 人と関わるメリット、デメリット
- お互いの障害理解へ



これからの課題として

- 求められる新たな相談支援体制
- ライフステージに応じたサポートを
- ネットワークの核として
- 制度の変わり目をチャンスに！



おわりに

創ろう！！

自分の生き方を

自分で決める暮らし

気軽に、お立ち寄りください！



ご清聴ありがとうございました

米沢にお越しの際は
ぜひ、お立ち寄りください。
暖かいコーヒーを入れて
お待ちしております。

